

【第2学年】 E 球技 「イ ネット型 バドミントン」

単 元 目 標	知識及び技能	勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

		1	2	3	4	5	6	7	8 (本時)	9	10	11	12	13	14
学 習 の 流 れ	10 20 30 40	健康・安全の確認、準備運動・主運動につながる運動、出席確認、本時の確認													
		オリエンテーション、 試しのラリー	シャトル拾い、打ち上げ		シャトル操作	課題克服型 スキルアップ練習 (個人)			シャトル操作	ペアの課題に 応じた練習					
			シャトル操作 (ハイクリア、ドライブ、 ヘアピン、サービス)			ワークシートを活用した スキルアップ練習の振り返り				公式ルールでのゲーム 共生の視点でのゲーム (アダプテッドゲーム)					
			ワークシートを活用した シャトル操作の振り返り												
	簡易ゲーム ・サービス手投げ (2~4) ・サービスあり (5) ・スマッシュなし			公式ルールでのゲーム			スキルテスト								
50	片付け、振り返り、次時の確認														
指 導	知識		①				②							総 括 的 評 価	
	技能		①		②	①②		③							
	思・判・表			①					②	②	②	③			
	態度	①					②								
評 価	知識		①				②								
	技能				①		②				③				
	思・判・表			①					②	②	②	③			
	態度					①		②							

評 価 規 準	知識	技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①バドミントンでは、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて、学習した具体例を挙げている。 ②競技会で、ゲームのルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が調整の仕方について、言ったり書いたりしている。	①シャトルをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むことができる。 ②シャトルを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 ③ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができる。	①課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ②選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ③体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。	①球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ②作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。

保健体育科（体育）学習指導案

本時

（１）本時の指導目標

自己やペアの動きに対して、課題を克服できるように互いに指摘し合うことができる。（思考力、判断力、表現力等）

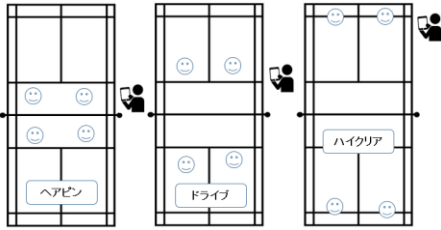
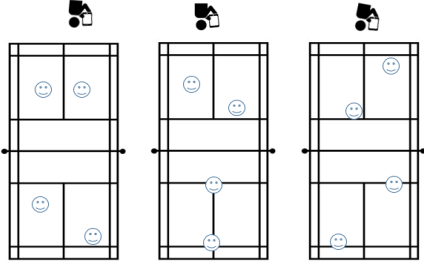
（２）本時の手立て

動き可視化して、自己やペアの課題を明確にするために Chromebook を活用する。

（３）準備物

- 教師 ラケット、シャトル、ホワイトボード
- 生徒 ラケット、シャトル、バドミントンネット、chromebook、ワークシート、筆記具

（４）学習の展開（学習過程）

	学習内容・活動	指導上の留意点	時間 配当	学習 形態	評価規準（評価方法）
導 入	・ランニング（フットワーク含む）、体操、補強運動 ・整列、挨拶 ・前時の振り返り、本時の学習内容確認	・主運動につながる動きを身に付けたり、怪我を未然に防いだりするために、準備運動を行う。 ・個人のワークシートの内容を確認させる。	5分 2分	一斉	
展 開	自己やペアの課題に対して、互いにアドバイスし合いながら、よりよい動きができるようにする。 ○課題克服型スキルアップ練習 【 ハイクリア ドライブ ヘアピン 】 ・3つの技能グループ毎に分かれて練習する ・グループ内でラリー⇒ラリー⇒動画視聴の順番でローテーションする（1分×7回）  ○スキルアップ練習の振り返り ○連携克服型スキルアップゲーム ・3コートで時間制ゲーム （2分30秒×7回） 	・自己の課題を明確にするために、動きを確認（動画視聴）する場を設定する。 ・自己の課題を克服するために、ショットごとに練習する場を設定する。 ・正しいフォームでシャトル操作することができるようにするために、自分の映像とモデル動画を視聴しながらペアで具体的なポイントを指摘し合う。 ・自己の課題や成果を明確にするために、ワークシートに記入する時間を設ける。 ・ゲーム前にペアの課題を確認するための時間を設定する。 ・空間を意識した動きを身に付けさせるために、フォーメーション（トップ＆バック、サイドバイト）を活用するよう促す。 ・連携した動きを身に付けさせるために、動画を見ながらペアの動きの課題を指摘し合う場を設定する。	10分 3分 21分	個人 個人 ペア	・様相観察、ワークシート【思考・判断・表現】 ペアや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・様相観察、ワークシート【思考・判断・表現】 ペアや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。

ま と め	・片付け	・全員で片付けをさせる。	3分	一斉	・ワークシートの記述 【思考・判断・表現】 自己やペアの成果と課題を振り返ることができる。
	・本時の振り返り	・ワークシートに本時の振り返りを記入させる。	4分	個人	
	・次時の内容確認 ・挨拶	・次時の内容を聞く。	2分	一斉	